

岡山県民大会シリーズ その後

岡山県民オリエンテーリング大会 2014年12月～15年4月

6ヶ月連続開催しました

本誌2月号に県民大会シリーズがシーズンインと題し、昨年11月23日の県民大会(県健康の森)の様子を掲載しましたが、フォローアップとして、その後をお伝えします。シリーズといっても総合成績など何もありませんが…。

12月14日 県民パーク0大会(吉備中央公園)

12月14日(日)、県のほぼ中央部標高300mにある吉備中央公園での開催です。昨年まで5年間、トレイル&パーク0大会として開催していましたが、諸般の状況からパーク0のみにして開催しました。公園と、一部隣接する民有林をお借りしての開催です。

公園内は、見通しの良い林と、広場、植え込みなどをつないでのコースで、スプリント競技というよりもミドルディスタンスのコンセプトを指向した、ショートディスタンス?パーク0です。

林は、施設の管理者にいつも気にかけていただいております。例年開催前には1年間茂ったカヤなどを刈り込んでもらえるので、大変気持ちよく走れます。その分、植生状態を反映したコース図の作成、印刷は直前までできませんが。

芝生広場などの広くフラットな開けたエリア、適度な起伏と地形の変化があるスーパーAの林、民有林などの樹木が茂り走行度B、C主体の林と変化に富んだトレイルで、走り方、ナビゲーションの素早い切り替えが求められ、例年参加者から、面白いと言っていたています。

今回は、約30名の参加者で残念ながら例年よりかなり少なかったのですが、初冬の公園で県外からの参加者を含め楽しんでいただきました。

なお、キッズ0も設けて、小さな子どもたちにも楽しんでもらいました。



(トレイル風景)



Lクラスのコース図

1月25日 県民パーク0大会(福田公園)

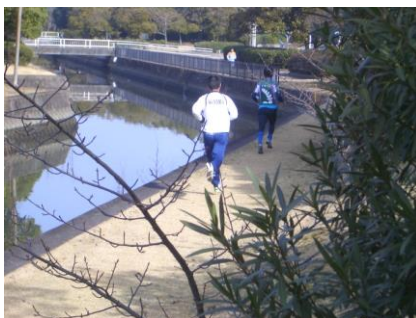
続いて1月25日(日)、倉敷市水島の福田公園で同じくパーク0を開催しましたが、こちらは9年目になります。

この公園は、まったくといってよほどフラットな公園で、3km強の距離でも登高は15mにもならないスピードトレイルですが、植え込みなどによるラビリン的な要素もあり、吉備中央公園とはかなり趣が異なります。

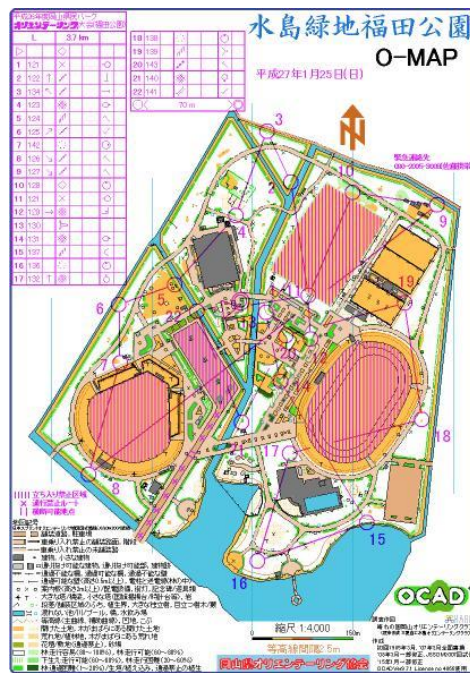
そんな面白さもあるので、昨年より多い55名の参加者があり、キッズ0も9名の子どもたちの参加がありました。



(1歳の女の子も一緒にまわります)



(前方の走者がよく見えます)



(Lクラスのコース図です)

2月22日 県民大会(由加山)

2月22日(日)、倉敷市由加にある市立少年自然の家を会場に開催しました。30年以上も前に数回開催し、途絶えていたトレインですが、昨年ミドルディスタンスで復活させたトレインです。今回、航空レーザ測量データをもとに調査エリアを拡げ、ロングディスタンス競技として実施しました。あいにく早朝に小雨がぱらついた天候でしたが、多くの県外からの参加者を含め約50名の参加がありました。



(スタート風景です)

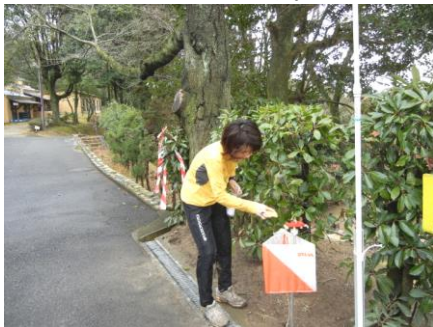
山はかなり急峻ですが、意外なほど走行度はよく、登高を抑えた面白いコースが設定でき、幅広いルートチョイスが可能です。

でも、そこは由緒あるお寺の昔の広大な境内? 主体ですので、植林などによる林ではなく、大半は手が加えられていない常緑の広葉樹林で、全般に見通しはよくありません。

また、エリア内に大きな道路、開けた土地などがほとんどないため、小径、古道(多くは切り開きで表記しています)をうまく使ってのナビゲーションが必要です。

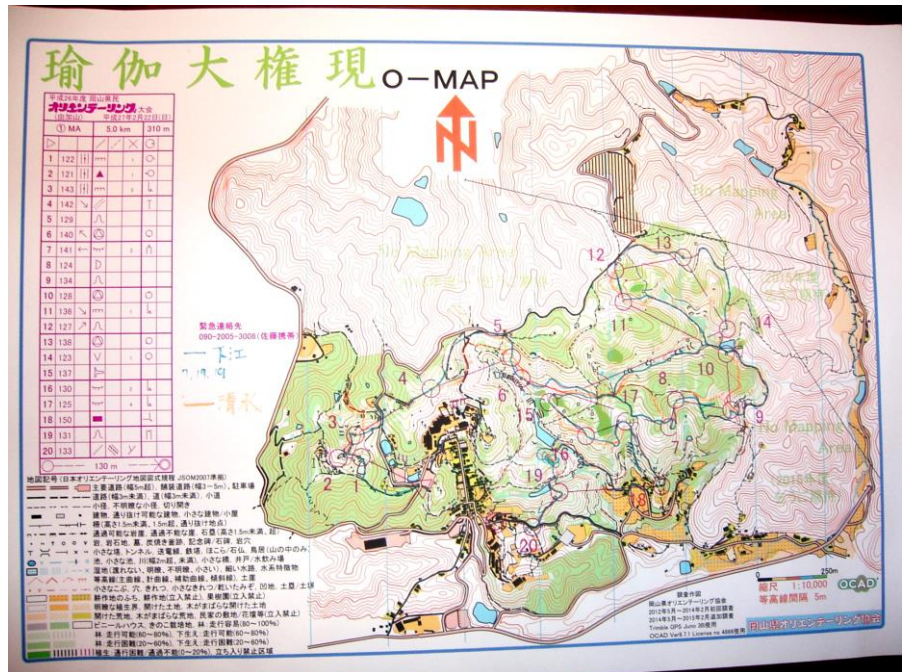
そのためもあってか、今回ベテランを含めた実力者もかなりミスがあり、苦勞されたようです。

各クラスともねらいどおり、かなり幅広いルート選択がなされており、その点よかったです。



(フィニッシュです)

今年度も、早々に5月から調査に着手し、さらにエリアを拡大して、一層面白いコースを提供する予定です。

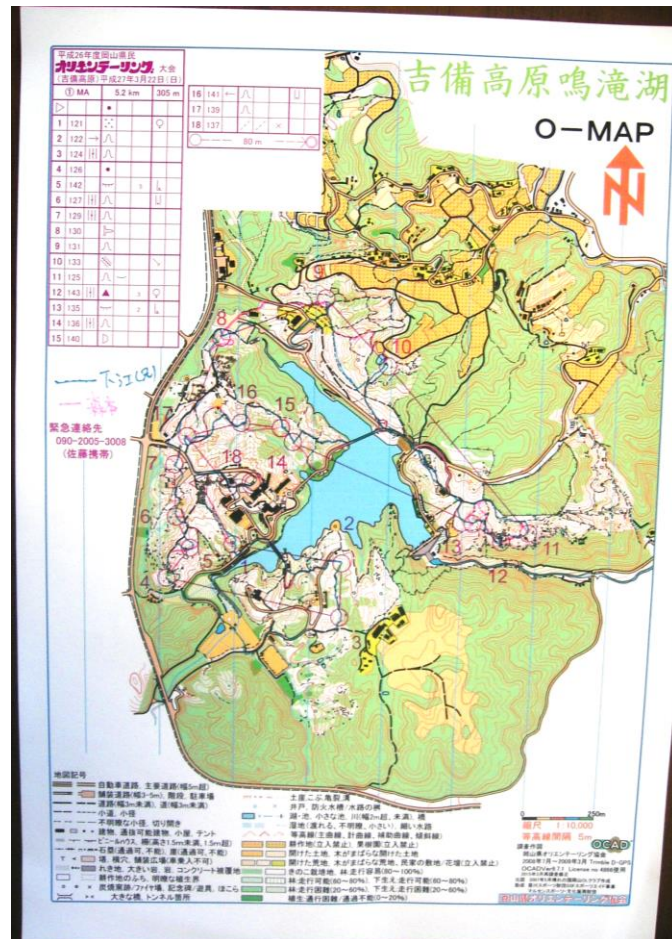


(MA 上位者のルート図です)

3月22日 県民大会(吉備高原)

3月22日(日)、吉備中央公園に近接する国立吉備青少年自然の家を会場に開催し、昨年より若干少ない約55名の参加がありました。

早いもので、このトレインでの開催も7回目になり、昨年まで毎年エリア拡大調査をしていましたが、今回は既存エリア内のみでコースを組みました。(地図調査の負担が減って少し楽になりました)



反面、リピータの方に対しても面白いと感じてもらえる新鮮味のあるコース設定が難題で、結構変則的? なコースになりましたが、ロングレグなどもあって、思っていた以上に好評でやれやれでした。

1ヶ所コントロール近くの斜面の荒れ地をCに変更しなければいけないのを調査時確認しながら、地図修正忘れでご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

国立吉備青少年自然の家は格安で宿泊できるため、例年スタッフが宿泊し遠方の参加者も宿泊できるようにしています。今回、村越さん、山川さんの先輩にあたる某銀行の方が鳥取から参加され、夜の歓談もしましたが、運営に携わっているとこんな出会いもあります。鳥取県、島根県からは、他にも数名の方に参加していただきました。



(表彰式です)

参加賞の島特産味付け海苔はおいしく大変好評で、子どもたちはすぐにおやつ代わりに食べています。上位表彰では、さらに多くの海苔が賞品としてもらえ、皆さん満面の笑顔になります。

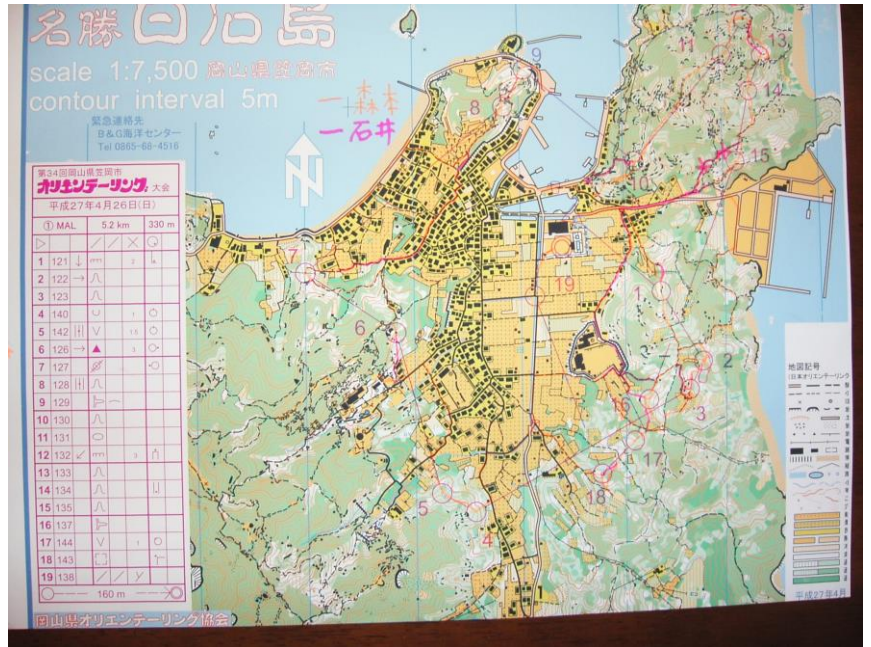


(表彰式です)

4月26日笠岡市大会(白石島)

年度が替わりましたが、4月26日(日)、34回目となる白石島の大会を約160名の参加を得て、穏やかな春の瀬戸内の白石島で開催しました。

岡山県で開催する大会では、この大会の参加者が一番多く、アットホーム的で大変にぎやかです。今回は久しぶりに1週間も前から好天に恵まれ、家族連れの方などにも大変気持ち良い大会となりました。



(MAL 上位者ルートです)



(開会式です)

昨年、依頼を受けて初心者講座を行ったボーイスカウト軍団が、今回も20数名参加してくれました。昨年はジュニアクラスにグループでの参加が大半だったのですが、今回はBクラスとNクラスへ挑戦してくれました。



(ボーイスカウトの人たちです)

岡山県協会では、地元の人の参加機会を増やすため、毎年同じトレインを使っても、開催頻度を増やすようにしていますが、その分コース設定に頭を悩まします。その筆頭といってよいのが、リピータの多いこの白石島の大会です。

今回、初めて給水地点を2カ所設け、ねじり鉢巻きのコースを完成させました。いずれのクラスもコントロール数を減らし、ロングレグ指向のコースにしましたが、初中級者のクラスでは少し難しかった人が多いようで反省しています。

ただ、上級クラスの人にとっては、大きなルートチョイスのあるロングレグは好評で、上記でもかなりルートが異なっていますが、1位と2位の所要時間差は6秒でした。

島は、高齢化に伴う人口減少などにより年々荒れてきています。この数年、コースまわりのアウトラインをもとに事前調査を行い、要整備の箇所を数日かけて鋸、ハサミなどで植生の手入れを行い、目指す走行度に仕上がっています。

このため、A, Bの植生の幅が狭く、少し外れるとヤブに突入というような事態になるのですが、ご容赦いただきたいと思います。

あとがき

2年ほど前の吉備中央公園と福田公園のパーク0に、お父さんと参加していた小学生の女の子が、今回の白石島でNクラスに参加し良い成績でした。先のボーイスカウト軍団の参加を含め、このようなことは、組織に携わる者として運営冥利に尽きます。

岡山県協会では、あと数年で後期高齢者になろうとするスタッフが多く、半年間毎月大会を開催するのは、かなり負担が大きいのが事実です。大会で寄せられるアンケートには、もっと大会を多く開催して欲しい、という要望も多くあるのですが、せめて現状維持を持続させるための施策を次の世代に傳承しながら、もう少し頑張りたいと思っています。(佐藤旭一)